中学校編 第1部 7 「友達をつくる - 傷つくことを恐れすぎない - 」

- 1 学 年 第1学年
- 2 主題名 「友情・信頼」
- 3 内容項目 2 (3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし 合い、高め合う。
- 4 テーマ C 人とのつながり

5 主題設定の理由

(1)ねらいとする価値

中学生のこの時期、友達関係は学校生活において重要な位置を占めている。友達に励まされたり、 反対に悩みの種になったりすることを経験しながら成長していく。 そんな時期にきちんと向き合う 関係の友達について考えてみることは大切である。

また、自分が真の友達を求めると同時に、自分も相手をきちんと理解し、向き合える関係を作っていく努力を惜しまないことにも気付かせたい。

(2)資料について

多くの生徒が友達の数が多い方が良いと考える傾向のある中、「たとえ友達と呼べる人が少なかったとしても、(略)一人でも一生の友達を見つけられたら、すばらしい」と筆者は述べている。この言葉に生徒は共感し、自分もそんな友達を作りたいと考えるであろう。

また、後半では傷つきたくないから浅いつきあいをすることを批判し、人と関わっていく中では「時にその人の言動に傷つくことがあるかもしれない。それが人と関わっていく現実」と言っている。このことは1年生の生徒には実感しにくいかも知れないが、人生の先輩からのアドバイスとして、友達について、ひいては人づきあいについて考えさせるきっかけになる資料である。

6 本時のねらい

自分の友達関係を振り返り、真の友人関係を築いていくことの大切さを考える。

7 授業改善の視点

- (1) 資料を読む前に、筆者の文章に関わることをあらかじめ考えさせることにより、より 主体的に筆者の考えについて理解し、深める。
- (2) ネームカードを用い、自分の意思表示をさせることにより、意見を持たせ、活発に発言をする。

8 本時の展開

過程	学習活動	主 な 発 問 予想される生徒の反応	指導上の留意点	資料・ 評価等
導入	1 自分自身を振り 返る。	学校生活の中で大切にしている ものを2つあげましょう。 ・友達 ・勉強 ・クラブ ・健康 ・生命 ・人間関係	・ほとんどの生徒は 「友達」をあげるで あろう。	ワークシ ート
	2 友達について考 える。	友達の数は自分にとって重要ですか。理由も書きましょう。 《重要である》 ・たくさん友達がいたほうが、楽 しいことがたくさんある。 ・いろんなタイプの友達がいれば	・あとの文章の内容に 関わることをあらか じめ考えさせてお くことで、より主体 的に考えられるよう にする。	

展 開		いる。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(友いをり友いら 自えし他考っけ評達て振、達てれ 分を、のえかた価に自り真に考た の発ま人もりか。つ分返のつえ。 考表たのし聞
終末	<.		・教師の経験を話す。 ・感想をしっかり書く ことで、本時のまと めを行う。	

9 板書計画

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
--------------------------------------	--

「友達をつくる - 傷つくことを恐れすぎない - 」

1年 組 名前

1	学校生活の中で大切にしているものを 2 つあげましょう。
2	友達の数は自分にとって重要ですか。理由も書きましょう。
	重要である・・・・・・・・・・重要でない
	理由
3	仲良くしている友達が、自分にとって傷つくことを言いました。その人をあなたはどう思い ますか。
4	筆者の考えに対し、一番心に残ったところはどこですか。また、そこで考えたことを書きま しょう。
5	友達について考えたことや授業の感想を書きましょう。

授業風景 板書







